

## TIC 案内業務事例

### 【「V」通信 524号 10月(後半)】

アメリカ カップル 50代(在住)

Q:青森の観光情報について

A:在住の方で今週末青森を訪れ「rice field を見に行く」とのことで、田んぼアートではないかと検索し、田舎館村田んぼアートの写真をお見せするとまさにそこだという。アクセスは弘南鉄道「田んぼアート駅」(期間中のみ停車)より徒歩すぐ、または田舎館駅より徒歩15分、青森市からは車で約40分とご案内。青森市のホテルに宿泊し、レンタカーで移動予定とのことであった。

その他も見どころをお探しとのことで、通常なら人気の五能線で十二湖方面へ行くことをおすすめしたが、生憎台風の影響で五能線は運休であった。しかしながらこちら「レンタカー移動のため大丈夫」とのことだった。また、白神山地ビジターセンターでは、いくつかの自然散策コースが案内されており、世界遺産にも登録されている白神山地はとても素敵なおところとご案内。また、アートにも興味をお持ちのようで、青森県立美術館は休館中のため十和田市現代美術館をご案内。実際青森県立美術館は以前行かれたことがあるそうで、十和田市現代美術館についてはパンフレットをご覧になって改めて興味を持たれた。アクセスは東北新幹線八戸駅から車で40分程度、七戸十和田駅からでも車で約20分かかるため、こちらについても青森市から車で移動し、奥入瀬や十和田湖も立ち寄りながら一緒に観光されてはどうかとご提案した。

交通パスは在住の方でも購入できる「JR EAST PASS」をご案内。宿泊先には温泉がないようなので、せっかく青森に行くのであれば温泉もおすすめの旨アドバイス。青森に着いたら案内所に立ち寄り、日帰り温泉情報を含めた現地の最新観光情報も入手していただくようお願いした。

お客様は黄色いキャップと黄色いマスクといったお揃いのデザインのものをお召しで、よくよく伺ってみるとご出身のミシガン州のもの、と嬉しそうに説明してくださった。日産の社員の方で4年半日本に滞在され、来年3月に帰国されるそうだ。それまでに日本の色々なスポットに行っておきたいと話していた。

■田舎館村田んぼアート: <http://www.inakadate-tanboart.net/>

・見頃は葉が生い茂る7月下旬から稲穂が出る8月下旬、稲刈り直前の9月末から10月初旬にかけては夏場とは異なる少々渋みの効いた光景を楽しむことができる。

■白神山地ビジターセンター(英語): <https://www.experience-shirakami.com/>

■十和田市現代美術館(英語): <https://towadaartcenter.com/en/>

ドイツ 女性2名 20代(ツーリスト)

Q:上高地へのアクセス方法と相撲鑑賞

A:上高地への行き方を知りたいとの問合せで、東京からのアクセス方法をご案内。現時点で

特にパスはないというので、新宿からダイレクトで上高地まで行ける、アルピコ交通の高速バスをとりあえずご紹介。ネット上で空席も確認できた。すると想定していたより料金が高いと感じたらしく、電車ではどうかとのこと。そこで電車でのアクセス方法(松本駅で乗り換え新島々駅よりバスでアクセス)をご案内するも、高速バスと料金はさほど変わらず、乗り換えが数回ある。その旨をお伝えすると、何やら二人で相談をし始めた。どうやら JR パスをいつ購入すべきかで悩んでいる様子。

彼女達の旅程を詳しく伺うと、日本には最大 19 日の滞在で、上高地、富士山、関西地域と広島など、大まかな訪問地は決めていたが、フレキシブルに動けるように細かくは計画をしていないとのこと。JR パスについては、購入予定ではあるのだが、後に関西や広島方面へ行く時までとっておいたほうがいいのかと思っていたようだ。そこで上高地に行く際に JR パスを購入し、使用を開始したほうがいいのかとのことだったが、新幹線や特急に乗る日付や回数が定かではないので何とも言えない。しかし話を進めていくうちに、上高地、富士山へは、都度東京へ戻ってから行くという、効率の悪い旅程で組んでいることが分かった。結果、東京→富士河口湖→上高地→(名古屋経由で)関西地域→広島を一行程とし、全て JR パスを購入して行くということで旅程を組み直した。各地の地図や情報もお渡ししようとしたが、携帯一つで大丈夫という、典型的な若者の自由旅行といった風のお二人であった。

また、「相撲も観たい」とのことだったが、東京場所は先月(9月)終了、来月(11月)は九州場所となる。その旨をお伝えすると、福岡を国際旅客船ターミナルがある場所だと認識していたようで、「もしかしたら行くかもしれないので、旅程が合えば観戦してみる」とのことだった。東京では、相撲の朝稽古見学を引き続き中止しているところが多いが、相撲の街、両国に行けば、国技館や相撲部屋もあって周辺を散策していると、力士に会えるチャンスがあるかもしれないことを併せてお伝えした。

最後に当案内所で作成した、「日本に来てくれてありがとう」と日本語で書かれた、オリジナルのステッカーをツーリストの彼女達にプレゼントした。数年ぶりの訪日観光客に、全国の旅行案内とのこと緊張したが、都度確認しながら進めたことで満足いただけようだった。